

SDLC 間の DLSw 設定例

内容

[概要](#)

[はじめに](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、同期データ リンク制御 (SDLC) /SDLC 接続の DLSw のピアのいずれかの端のシリアル インターフェイス上でデータ リンク スイッチング (DLSw) を設定する場合の設定例を紹介します。

[はじめに](#)

[要件](#)

この設定を開始する前に、次の要件が満たされていることを確認してください。

- ルータが IBM 機能セットを実行していること。
- DLSw ピアが設定されていること。
- 接続の両端が SDLC をサポートするシリアル インターフェイスであること。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントは、特定のハードウェアやソフトウェアのバージョンに限定されるものではありません。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[設定](#)

このセクションでは、このドキュメントで説明する機能を設定するために必要な情報を提供しています。

ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。



設定

このドキュメントでは、次の構成を使用します。

- PU 2.0 接続
- PU 2.1 接続

PU 2.0 接続

Router A

```
dls w local-peer peer-id 1.1.1.1
dls w remote-peer 0 tcp 1.1.1.2
```

int s 0

```
interface Serial2/0
  no ip address
  encapsulation sdlc
  no keepalive
  serial restart-delay 0
  sdlc role secondary
  sdlc vmac 4000.1000.0000
  sdlc address C1
  sdlc partner 4000.2000.00c1 C1
  sdlc dls w default
```

Router B

```
dls w local-peer peer-id 1.1.1.2
dls w remote-peer 0 tcp 1.1.1.1
```

interface Serial2/0

```
  no ip address
  encapsulation sdlc
  no keepalive
  serial restart-delay 0
  sdlc role primary
  sdlc vmac 4000.2000.0000
  sdlc address C1
  sdlc partner 4000.1000.00c1 C1
  sdlc dls w default
```

PU 2.1 接続

```
Router A

dlsw local-peer peer-id 1.1.1.1
dlsw remote-peer 0 tcp 1.1.1.2

int s 0
interface Serial2/0
  no ip address
  encapsulation sdlc
  no keepalive
  serial restart-delay 0
  sdlc role secondary
  sdlc vmac 4000.1000.0000
  sdlc address C1 xid-passthru
  sdlc partner 4000.2000.00c1 C1
  sdlc dlsw default

Router B

dlsw local-peer peer-id 1.1.1.2
dlsw remote-peer 0 tcp 1.1.1.1

interface Serial2/0
  no ip address
  encapsulation sdlc
  no keepalive
  serial restart-delay 0
  sdlc role none
  sdlc vmac 4000.2000.0000
  sdlc address C1
  sdlc partner 4000.1000.00c1 C1
  sdlc dlsw default
```

確認

ここでは、設定が正しく機能していることを確認するために使用する情報を示します。

- `show dlsw peer` : ピアの状態を表示します。
- `show dlsw reachability` : ローカルおよびリモート MAC アドレスの状態を表示します。
- `show dlsw circuit` : 回路の状態を表示します。
- `show int serial x/x` : インターフェイスの状態を表示します。

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

- 詳しくは、「[DLSw のトラブルシューティング](#)」を参照してください。